



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

令和元年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ミツシシマイケイショウカツドウジッコウイインカイ
団体名 御津獅子舞継承活動実行委員会
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
フリガナ
代表者 役職・氏名 イシハラ サカエ
会長 石原 栄 ㊟

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	御津獅子舞継承活動事業
事業実施小学校区・地区	御津小学校区、五城小学校区、御津南小学校区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 10 回目 / 【22年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 1、獅子舞継承活動（小・中学生への指導）に参加する人が少ない。 2、19年前に御津獅子舞保存会を立ち上げた時には、12団体あり全国獅子舞フェスタには、8団体が参加していたが、現在では4団体に減っている。今年、真名井神社（浦安の舞）の復活があるが、各地区の獅子舞もその存続が危ぶまれている。 3、御津地域の各活動への参加住民が減少している。 4、各町内会同士の交流の場が減少し、人間関係が希薄化している。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 1、御津地区の長い歴史と特徴ある獅子舞という貴重な文化遺産を維持・保存し、お祭りの持つ魅力と良さを再認識し、次なる世代（子どもたち）への獅子舞の継承していく。 2、獅子舞を通じて交流を深め、人とのつながり、結びつき、絆の大切さや先人の知恵、教えを理解し、地域の活性化を図る。

事業の内容	<p>※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、獅子舞継承活動（小・中学生への指導）を秋祭りの練習を通して行っている。 2、数年前から御津中学校の土曜日カルチャースクールで獅子舞体験の授業を行っている。 3、朝日塾中等高等学校の生徒への獅子舞の指導・援助のなかで、多国籍交流を図る。 4、啓発活動。（ポスター、チラシ等の作成と配布） 5、上記活動の集大成として、成果の発表の場を設ける。 <ol style="list-style-type: none"> ① 獅子舞フェスタの開催。 ② 各獅子舞団体の継承と保存意欲を高める。 6、9月22日に「みつの獅子舞」ワークショップを開催する予定。現在の4団体以外に御津で秋祭りに活動している団体にも参加してもらう。 7、活動記録をデジタル化し、保存・継承に役立てる。 8、上村地区の真名井神社に奉納する舞（浦安の舞）を10年ぶりに復活する。
期待される成果・目標	<p>※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、次世代の子供たちへの獅子舞の継承。 2、秋祭りの獅子舞活動を通じて、世代を超えた交流、地域の情報の共有化。 3、御津公民館祭り、獅子舞フェスタ開催により、地域・住民の交流と活性化を図れる。 4、伝統ある獅子舞の継承と他の郷土芸能の保存意欲の復活。 5、地域づくりのベースに獅子舞を置くことで、人とのつながり、絆が深まり災害時等に役立つ。
企画などの工夫	<p>※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、昨年の講演「なぜ獅子舞をしているのか」で深めた、獅子舞・祭りの意味、大切さ、人とのつながり、コミュニティの大切さをさらに深めるため、今年は「みつの獅子舞」ワークショップを開催する。（他の団体にも呼び掛ける。） 2、町内会、各種団体との連携を深める活動を継続する。 3、各団体の秋祭りに向けての活動を記録・保存しデジタル化し次世代への継承を行う。
協働する団体等	<p>※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、御津中学校 土曜日カルチャースクールに御津公民館の講座団体と共に参加し、獅子舞の体験授業を行う。 2、朝日塾中等教育学校 朝日塾中等教育学校の生徒の参加。 3、御津公民館 御津公民館祭り、獅子舞フェスタ。
事業の情報公開	<p>※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、岡山市広報「市民のひろば」 2、御津公民館だより 3、山陽新聞 4、Oniビジョン

<p>学区地域への広がり</p>	<p>※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組み方について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 御津学区敬老会…菅正八幡宮獅子舞保存会、宇甘神社獅子舞保存会が出席 ○ 五城学区敬老会…新庄獅子舞保存会が出席 ○ 五城小学校運動会…午後のプログラムで獅子舞を演舞 ○ 五城学区…どろりんピック
<p>前年度からの見直し拡充点</p>	<p>※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連合町内会など各種団体との連携、関わりを強める。 ○ 子供たちが興味を持ち継続的に学べるようにカルチャースクール等中高生向け練習会を行う。 ○ 「みつの獅子舞」ワークショップを開催し、各団体参加者の意見交換を行う。4団体以外の団体にも呼び掛け参加してもらおう。また、連合町内会、自治会町など幅広く呼び掛ける。
<p>次年度以降の予定</p>	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入してください。</p> <p>①次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校でのカルチャースクールを継続し、この活動を小学校へも広げる努力をする。（将来的には子供クラブ化を検討する。） ○ 朝日塾中等教育学校の生徒への。獅子舞指導を通じて異文化交流を行う。 ○ 御津地区外の獅子舞団体との交流を行い、建部の獅子舞団体との交流も継続する。 ○ 災害の多い現在、獅子舞の役割（地域づくり、人とのつながり…）について再認識し、地域・住民に対して講演会等を開催する。 <p>②資金の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 <input type="checkbox"/> （ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： ○ 連合町内会、各単位町内会からの寄付、企業交流会からの寄付をお願いする。
<p>その他PRしたい点</p>	

事業スケジュール

(企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活 動 内 容
4月	
5月 12日	早島令和元年お祭り 獅子舞演舞
6月 9日	五城ドロリンピック 獅子舞演舞
17日	第1回御津公民館祭り・獅子舞フェスタ合同役員会
19日	御津獅子舞保存会役員会
25日	御津獅子舞保存会役員会
29日	第1回御津公民館祭り・御津獅子舞フェスタ実行委員会
7月	
8月 31日	第2回御津公民館祭り・御津獅子舞フェスタ実行委員会
9月 16日	御津学区、五城学区敬老会 獅子舞演舞
22日	「みつの獅子舞」ワークショップ
28日	五城小学校運動会 獅子舞演舞
10月 4日	津山中央公民館 獅子舞演舞
	各地区秋祭り
22日	御津中学生・朝日塾中等学校生への獅子舞の指導・援助
11月 2~3日	第42回御津公民館祭り・獅子舞フェスタ
16日	御津中学校土曜日カルチャースクール
26日	第2回御津公民館祭り・獅子舞フェスタ合同役員会
12月	
1月 2日	吉備津彦神社 正月獅子舞
	岡山空港 新春獅子舞
2月	
3月	収支、活動報告会

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位：円

費 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	221,500	315,000	
負担金	221,500	315,000	
参加費			
寄付、他収入			
計	443,000	630,000	

◆ 支 出

単位：円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
①消耗品費	160,000	164,000	雪駄22足、白足袋22足、地下足袋40足、事務用消耗品
②食糧費	5,660	18,000	練習時の飲料代
③印刷製本費	0	48,000	チラシ、ポスター印刷代
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	0	5,000	郵送料
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	47,880	60,000	廃棄物運搬費、獅子舞衣装クリーニング代
⑨使用料・賃借料	0	0	
⑩原材料費	64,300	0	
⑪委託料	110,160	250,000	警備保障費、CD作成費
⑫工事請負費	40,000	40,000	仮設電気工事
⑬報償費	0	20,000	謝礼
⑭保険料	0	10,000	賠償責任保険
⑮旅費	0	0	
⑯その他	15,000	15,000	営業許可料
計	443,000	630,000	

◆概算交付の要否（いずれかに○をしてください）。（補助金額が20万円を超える場合のみ）

補助金の概算払いを	希望する		希望しない
-----------	------	--	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書き下さい

運営資金が少ないため

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に概算内訳を記載してください。

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。